

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	森林管理促進事業			事業番号	23-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	辻 雅弘	農業振興課農林整備担当	萩原 徳之	

計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	10	地域の産業が盛んなまちをつくる	
		施策	23	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
予算事業名	林業基盤整備事業費 森林管理事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-
関連法令等	森林法、県補助金交付要綱(水源の森林づくり協力協約事業、水源環境保全・再生市町村補助金事業)				
国・県の計画等	かながわ森林再生50年構想、神奈川県森林計画		計画期間	平成23年度～	
関連個別計画	伊勢原市森林整備計画、第3期水源環境保全・再生市町村5か年計画		計画期間	平成23年度～	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	水源の森林エリア内の高齢級の間伐、枝打ちなど、森林の適正な整備及び保全を行っていかなかで、施業着手が困難な状況にある森林が散見されるため、施業に必要な作業路網の整備を推進していく必要があります。また、市内では野生動物が頻発に出没し集落に悪影響を与えているため、水源涵養機能の向上とともに野生動物の出没を抑制する狙いから、集落周辺の荒廃した森林を整備する必要があります。				
目的 (何をどうしたいのか)	森林の荒廃を防ぎ森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、作業路の整備など、継続的な森林整備を進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	民有林				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 作業路(枝打、間伐、木材搬出用道路 幅員 W=2.5m)網の整備を行います。 協約締結地において、間伐、枝打等の森林整備を行います。 集落周辺(大山地区、高部屋地区及び比々多地区等)において、間伐、枝打、除伐及び地拵え等の森林整備を行います。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	作業路の整備	工事	工事	工事	
	協約締結地の森林整備	間伐・枝打	間伐・枝打	間伐・枝打	
集落周辺の森林整備	間伐・枝打・除伐・つる切り・地拵え	間伐・枝打・除伐・つる切り・地拵え	間伐・枝打・除伐・つる切り・地拵え		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	作業路の整備延長	L=692m (平成29年度)	L=650m	L=650m	L=700m



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)					
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		補助先	伊勢原市森林組合	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		具体的内容	直営による実施	
実施結果	項目		年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	作業路の整備		工事		
	協約締結地の森林整備		間伐・枝打		
	集落周辺の森林整備		間伐・枝打・除伐・つる切り		
実施した取組の内容	・作業路L=668mの整備を実施しました。 ・協約締結地A=22.21haの森林整備を実施しました。 ・集落周辺A=4.28haの森林整備を実施しました。				
目標の達成状況	【指標名】		年度		
	【現状値】		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	作業路の整備延長		L=668m		

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		25,249	千円			0	千円			0	千円			
	内訳	国県支出金 ①		21,360	千円			0	千円			0	千円		
		地方債 ②		0	千円			0	千円			0	千円		
		その他特財 ③		0	千円			0	千円			0	千円		
		一般財源 (a)-①-②-③		3,889	千円			0	千円			0	千円		
	国県支出金の内容		神奈川県協力協約推進事業補助金 補助率:90%(作業路) 補助率:80%(森林整備) 神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金 補助率:100%												
	その他特財の内容	受益者負担		○ 有 ● 無				前回の改定時期							
		その他													
	人件費	正規職員		0.37	人	3,149	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)		0.37	人	3,149	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)		28,398	千円			0	千円			0	千円			
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位			単位			単位			
			対象数	102,416		人									
総事業費 / 対象数		277	円				円				円				

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 作業路の整備計画延長L=650mに対し、L=668mの整備を行いました。 また、作業路を活用した協約締結地の森林整備や、集落周辺の森林整備を効率的に行うことができました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県標準単価を使用していることから、他市と同水準での事業実施であると考えます。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 作業路の整備により、林業機械の導入が可能となり、林業作業の効率化、生産性の向上につながる等、有効な森林整備を行うことができました。 また、集落周辺の森林整備を行うことにより、有害鳥獣の出没抑制を行うことができました。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 森林施業に従事している森林組合に本事業を委託しているため、効率的に実施することができました。


 取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業を実施するためには地権者の同意が必要であり、整備箇所によっては地権者数が多数となることから、同意を得る作業に時間を要します。
令和元年度の取組方針		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、森林組合と事業執行の調整を図り、作業路の整備、荒廃した森林の整備を計画的に進めます。 		
所管部長による総評		<ul style="list-style-type: none"> 本市が保有する森林の安全で快適な自然環境の提供と、水源林としての豊かな水資源の確保など、公益的機能を確保するため、適切な森林施業を継続的に実施する必要があると考えます。 このため、作業路の整備や森林整備は必須であり、今後も計画的に本事業を推進していく必要があります。 		